



頻発化する大規模災害に備える

『みんなで減災』助け合いをひろげんさい

閲覧
無料



ぼうさい
こくたい
2020
HIROSHIMA

「ぼうさいこくたい」は、今年で5回目。

誰もが気軽に防災を学べる日本最大級の防災イベントです。

広島からも多くの団体が出展!!



開催日 2020年 **10月3日(土)** 今年はおオンラインで開催!!

主催／防災推進国民大会2020実行委員会

(内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議)

詳しくはWEBで!

ぼうさいこくたい

検索

<https://bosai-kokutai.com/>





内閣府特命担当大臣(防災)

小此木 八郎

「防災推進国民大会2020」の開会に当たり、御挨拶申し上げます。防災推進国民大会、通称「ぼうさいこくたい」は、防災に取り組む様々な団体や機関、国民の皆様が一堂に会し、それぞれの知識、経験、技術などを全国的な規模で発信し、交流する総合イベントとして、平成28年度から毎年開催して参りました。

今年度は広島市での開催を予定しておりましたところ、ご承知のようなコロナ禍の状況が生じたため、開催について検討を重ねた結果、国民の防災意識を高めようという大会の重要な意義にかんがみ、オンラインによる開催に変更して行うことといたしました。

大会の内容は当初の予定どおり広島からの発信を重視いたします。今年は終戦直後の広島に多大な犠牲者を出した枕崎台風から75年です。また近年、豪雨や台風による災害が頻発化、激甚化する中、広島では、土砂災害防止法制定のきっかけとなった平成11年の豪雨災害、平成26年、30年の豪雨による大きな土砂災害など多くの災害が生じています。広島には原子爆弾による惨禍とともに忘れてはならない災害の歴史があります。国民の皆様には、その歴史を振り返り、教訓を共有し、これからの災害に備えていただきたいと思います。

今年の大会は「頻発化する大規模災害に備える～『みんなで減災』助け合いをひろげんさい～」とのテーマの下、行政、企業、各種団体、学術界など118団体によるイベントが展開されます。頻発する自然災害にコロナ禍も加わり、私たちは大変な時代を迎えていますが、大切なことは、行政による「公助」はもとより、国民一人一人が自ら取り組む「自助」、そして、地域、企業、学校、ボランティアなど互いに助け合う「共助」を組み合わせ、地域全体で防災の力を高めていくことです。様々な分野の防災の担い手が集うぼうさいこくたいを通じて、皆様が繋がり、助け合いの絆を紡いでいただければ幸いです。

結びに、本大会の開催に当たり格別の御尽力、御協力をいただいた広島県、広島市をはじめ、関係する多くの皆様に深く感謝申し上げるとともに、大会の成功を心から祈念いたします。



防災推進国民会議議長、防災推進協議会会長（日本赤十字社社長）

大塚 義治

新型コロナウイルス感染症によって、私たちの暮らしは大きく様変わりしています。また、そのような中で、本年7月には豪雨が各地に被害をもたらしました。今は我が国にとって、これまで実践してきた防災の取り組みを、感染症対策という視点も交えながら、改めて見つめ直すべき時と言えるでしょう。

本大会が、オンライン開催のメリットを存分に発揮し、広島県と全国の皆様が一体となって、災害にどのように備えるべきか具体的に考える機会となりますよう、心から期待します。



防災推進国民会議副議長（（公財）日本消防協会会長）

秋本 敏文

今年はオンライン開催となりました。全国の皆さんに見聞して頂けるという特徴を活かさなければなりません。全国各地でさまざまな災害が相次ぎ、大規模化複雑化していますが、どんなことがあっても生命を守り抜くことができるようにするためには、国、地方公共団体の役割も大事ですが、おひとりおひとりの、日頃からの取り組み、非常時の対応が大事です。このことを幅広く全国の皆さん共通の思いにして頂き、一億総参加、総活躍の防災体制づくりをさらに強く進めるよう、このオンライン開催を活かしたいですね。



広島県知事

湯崎 英彦

県土の約7割を山地が占める広島県では、土砂災害危険箇所数は、4万7千箇所を超え、全国で最も多く、過去、幾度となく尊い生命が失われる災害が発生しました。

このため、本県では、県民の皆様は災害から命を守るための適切な行動をとっていただくよう、あらゆる主体が一体となった「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」に取り組んでいるところです。

この機会に、防災についての様々な取組や、地域での助け合いの重要性などを学び、ともに「災害死ゼロ」を目指してまいりましょう。



広島市長

松井 一寛

1945年8月、原子爆弾により廃墟と化した広島市は、その翌月、戦後最大級の災害をもたらした枕崎台風の来襲を受けました。その後、街は見事に復興しましたが、近年でも、2014年8月、2018年7月に大規模な豪雨災害を経験しています。

「防災推進国民大会2020」は、本市の経験を含め、災害を通じて得た様々な教訓を共有し後世に伝えていくための絶好の機会であり、国際平和文化都市・広島から、災害に強いまちづくりの取組を発信することで、多くの皆様の防災意識が高まることを期待しています。

オンライン開催用特設ページへのアクセス方法


<https://bosai-kokutai.com/>

URLからアクセス!

または

タブレット、スマートフォンは
二次元コードからアクセス!

予約なしで
視聴可能!

セッション配信プログラム

セッションは事前予約やアプリケーションのダウンロード不要で視聴いただけます。
10月3日当日、特設ページから各セッションの「視聴する」ボタンをクリックすると視聴画面に繋がります。

10:00								
10:30		SS-01	オープニングセッション					
11:00	特別企画 広島県知事×三重県知事対談	SS-02 防災教育 チャレンジプラン 実行委員会						
11:30			SS-04 阪神・淡路大震災 記念人と防災 未来センター	SS-05 SIP国家 レジリエンス (防災・減災の強化)	SS-06 NPO法人 日本ラクテーション・ コンサルタント協会	SS-07 (二社) 日本リモート センシング学会	SS-08 YY 防災ネット	SS-09 (二社) DroneAI 技術研究機構
12:00	SS-03 ハイレベル セッション							
12:30								
13:00		SS-10 広島市 第一部 防災セミナー						
13:30	SS-11 防災学術連携体・ 日本学術会議		SS-13 みんな元気になる トイレ協議会	SS-14 (公財)味の素 ファンデーション	SS-15 (株)不知火プロ		SS-16 (二社)日本損害 保険協会	SS-17 (二社)災害 防止研究所
14:00	SS-12 広島県災害復興 支援士業連絡会							
14:30		SS-18 広島市 第二部 防災セミナー						
15:00								
15:30								
16:00	SS-19 (公財)日本消防協会	SS-25 NPO法人 全国災害ボランティア 支援団体ネットワーク	SS-20 防災教育学会	SS-21 広島大学防災・ 減災研究センター	SS-22 (独)都市再生機構	SS-23 (二社)日本ドローン コンソーシアム	SS-24 (公社)日本医師会	
16:30								
17:00	特別企画 内閣府×環境省「気候変動と防災」							
17:30								
18:00		SS-26	クロージングセッション					

SS-01



オープニングセッション

内閣府



10:00～11:00

防災担当大臣、防災推進国民会議議長の主催者挨拶、主会場から広島県知事、広島市長のご挨拶をいただきます。その後、ハイレベル対談として、過去に広島で発生した土砂災害も教訓に、命を守る避難の大切さを訴えるため、不断の改善を進めているわが国の避難の取組について、東京大学田中特任教授、広島大学海堀教授、日本テレビ鈴江アナウンサー、コーディネーターに国土館大学山崎教授を迎え、本大会の火蓋を切る対談を行います。

■出演者／
小此木 八郎 内閣府特命担当大臣(防災)
大塚 義治 防災推進国民会議議長、防災推進協議会会長(日本赤十字社社長)
湯崎 英彦 広島県知事
松井 一實 広島市長
田中 淳 東京大学大学院 情報学環 特任教授
海堀 正博 広島大学先進理工系科学研究科教授/防災・減災研究センター長
鈴江 奈々 日本テレビ放送網(株)編成局アナウンス部 アナウンサー・防災士
山崎 登 国土館大学防災・救急救助総合研究所 教授

SS-02



防災教育交流会

防災教育
チャレンジプラン
実行委員会



11:00～12:30

○防災教育チャレンジプランの対象である防災教育の取り組み初心者等に対して、本大会のテーマである「頻発する大規模災害に備える～『みんなで減災』助け合いをひろげんさい～」を踏まえたセッションを行うことにより、防災教育についての知見、理解を深めます。
○本事業の参加主体である学校、NPO、学生団体、個人等が一堂に会し、セッションを行うことにより、今後の防災教育の普及推進に向けた検討課題の共有化を図ります。

■出演者／
林 春男 国立研究開発法人防災科学技術研究所 理事長
河田 恵昭 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター センター長
戸田 芳雄 学校安全教育研究所 代表/日本安全教育学会 理事長
益田 紗希子 NPO法人ミラクルウィッシュ 代表
齋藤 朝子 埼玉県立日高特別支援学校 小学部主事 防災アドバイザー
古賀 元博 南阿蘇村立南阿蘇中学校 防災主任、防災士
田中 良典 滋賀県立彦根工業高等学校 教諭
長屋 和宏 吾妻学園おやじの会
幾島 浩恵 上富田ふれあいルーム 講師

SS-03



ハイレベルセッション

災害の経験と地域防災力の強化～土砂災害の経験から～

内閣府



11:30～13:00

広島は、平成26年、30年と立て続けに豪雨による大きな土砂災害に見舞われました。国・自治体では、これらを教訓とし、自助・共助の意識を高め、避難対策を活発に推進しています。そこで、広島市長、中国地方整備局長などの行政機関やマツダ、防災の専門家、地元住民など、様々な立場から広島の土砂災害の経験を踏まえ、住民の避難行動促進の課題と対策、地域の防災力を高めるための方策や組織の連携について意見交換を行います。

■出演者／
松井 一洋 広島経済大学 名誉教授
村手 聡 内閣府大臣官房審議官(防災担当)
小平 卓 国土交通省中国地方整備局 局長
松井 一實 広島市 市長
勝田 博文 広島市消防局 消防局次長
植 義則 広島県警察本部警備部危機管理課 危機管理課長
大竹 文雄 大阪大学大学院経済学研究科 教授
鍵屋 一 跡見学園女子大学 教授 (一社)福祉防災コミュニティ協会代表理事
菅蒲田 清孝 マツダ(株)取締役 専務執行役員
西田 志都枝 早稲田学区社会福祉協議会 同 自主防災連絡協議会 会長

SS-04



災害伝承ミュージアム・セッション

vol.2 2020 with コロナ時代における課題と展望

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

11:30～13:00

先に実施したアンケート調査の結果から、コロナ禍における災害伝承施設(防災啓発施設等を含む)の状況を俯瞰します。また、全国の9団体から施設の紹介とともにコロナ禍における取組状況などを発表いただきます。このセッションを契機とし、施設間のつながりが一層深まり、より多くの施設と関係を広げていけることを期待しています。

■出演者／
佐藤 克美 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館 館長
中川 政治 東日本大震災メモリアル「南浜つなぐ館」 専務理事
野村 卓也 中越沖地震メモリアルまちから チーフ防災コーディネーター
吉田 剛 埼玉県防災学習センター「そなえ」 副所長 兼 総務・渉外グループ長
木村 翔太 横浜市民防災センター 消防士長
静岡県地震防災センター
徳田 竜司 大阪市立阿倍野防災センター 大阪市消防局予防部地域担当課長
今井 隆介 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 事業部長
高岡 美菜 (熊本地震)震災遺構(旧東海大学阿蘇校舎1号館及び地表面地震断層)
熊本地震知事公室付 参事
進行:平林 英二 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター 企画ディレクター

SS-05

SIP「国家レジリエンス」の
革新技術で変わるこれからの災害対応

SIP国家レジリエンス(防災・減災)の強化



11:30～13:00

広島県は、土砂災害等危険箇所が約3万2千カ所と全国で最も多い県であり、平成26年8月豪雨、平成30年7月豪雨において、土砂災害による大きな被害が発生しました。広島県の災害対応の取組を紹介いただきながら、平成30年7月豪雨でも対応した研究者メンバーより、令和2年7月豪雨において活用された開発技術を紹介し、革新技術によって変わるこれからの災害対応の姿を探っていきます。

■出演者／
関 克己 (公財)河川財団 理事長
佐藤 伸樹 広島県 危機管理監 危機管理課 課長
臼田 裕一郎 (国研)防災科学技術研究所 国家レジリエンス研究推進センター 研究統括
六川 修一 東京大学工学系研究科 教授、兼(国研)防災科学技術研究所 国家レジリエンス研究推進センター 研究統括
萩行 正嗣 (株)ウェザーニューズ 主任研究員
清水 慎吾 (国研)防災科学技術研究所 国家レジリエンス研究推進センター 研究統括

SS-06

国際スタンダードにそった
災害時における乳幼児の栄養支援とはNPO法人日本ラクテーション・
コンサルタント協会

11:30～13:00

以下4人のシンポジストが15分前後で以下のテーマについて話す。その後、お互いに質問しあう形で内閣府男女共同参画局から5月に出た防災・復興のガイドラインに書かれた災害時の乳幼児栄養・授乳支援について、多角的に論じます。
浅野幸子「内閣府ガイドラインの概要」、名西恵子「コロナ禍の授乳支援」、奥 起久子「国際スタンダードと災害時の母乳継続の利点」、本郷寛子「国際スタンダードとアセスメントシートについて」

■出演者／
浅野 幸子 減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表
早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員
名西 恵子 東京大学医学部国際交流室講師。同大学院医学系研究科国際保健学専攻講師兼務小児科医
奥 起久子 NPO法人 日本ラクテーション・コンサルタント協会 災害対策事業部
本郷 寛子 母と子の育児支援ネットワーク代表。
東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻修了(保健学博士)

SS-07



防災分野における リモートセンシングの最前線

(一社)日本リモートセンシング学会



11:30～13:00

リモートセンシングの基礎、災害把握への衛星データ利用事例、災害を捉えた画像を紹介するパネルを展示する。リモートセンシングの最先端技術が災害把握に有用であることを示します。

■出演者／

桑原 祐史 茨城大学 地球・地域環境共創機構/教授
作野 裕司 広島大学 大学院先進理工系科学研究所
輸送・環境システムプログラム/准教授
小黒 剛成 広島工業大学 環境学部 地球環境学科/教授
田殿 武雄 宇宙航空研究開発機構(JAXA) /研究領域主幹
伊東 明彦 (一社)日本ドローンコンソーシアム/事務局長

SS-08



地域防災・学校防災とは

YY防災ネット



11:30～13:00

防災減災とは地域防災・学校防災の取り組みが重要です。感染症対策で地域防災・学校防災でできることを四度の地震災害経験者として伝えます。

■出演者／

野端 務 石川県白山市石同新町 自主防災会会長
吉野 堯 石川県白山市石同新町自主防災会 顧問
松岡 俊介 YY防災ネット ジュニア防災リーダー
吉田 亮一 YY防災ネット 代表

SS-09



災害と先端技術 ーそこにAI(愛)はありますかー

(一社)DroneAI技術
研究機構



11:30～13:00

「より多くの命をいかに守るか」、それが私たちの挑戦です。特にお年寄りやお子様、そしてフィジカルチャレンジをされている方への逃げるを助ける先端技術について

- 1 現代版ノアの方舟
- 2 ありそうでなかった不思議な避難梯子
- 3 避難所AI(人工知能技術)

■出演者／

田口 政行 (一社)DroneAI技術研究機構 研究者/防災研究者(教育)
藤重 裕 (一社)DroneAI技術研究機構 理事長

SS-10



広島市防災セミナー 語り継ぐ防災～教訓を活かす～第一部

広島市



13:00～14:15

(株)中国放送と共催し、「災害伝承と防災教育 ～大切な命を守るために～」をテーマに、東京大学の片田敏孝教授を迎え、トークセッションを開催します。広島市内の災害伝承に関する取組や、防災に関する学校教育の例を、地域の方々にご紹介していただきながら、気象予報士の岸真弓さんやアナウンサーの本名正憲さんが全体コーディネートします。トークセッションの様子は、ラジオでもライブ配信します。

■出演者／

片田 敏孝 東京大学大学院情報学環・日本災害情報学会/特任教授・会長
松井 憲 復興交流館モントラコン/事務局長・広島市地域防災リーダー
杉田 精司 河内地区自主防災会連合会/会長
山口 芳和 落合小学校/教諭・広島市地域防災リーダー
本名 正憲 (株)中国放送/アナウンサー
岸 真弓 (株)中国放送/気象予報士・防災士

SS-11



複合災害への備えー withコロナ時代を 生きる

防災学術連携体・日本学術会議



13:30～15:00

新型コロナウイルスの感染拡大は日本全国、全世界に及んでいます。感染症への対策は続けねばならず、この間に生じる地震や気候変動激化による豪雨災害にも備えねばなりません。「withコロナの時代」に生きる私たちは、今後このような自然災害が複合して生じる災害にどのように備えていくべきでしょうか。医療、気象、水害や震災などの分野の専門家が集まり、知恵を結集して議論するとともに、一般市民への展開を図ります。

■出演者／

和田 章 東京工業大学名誉教授、日本学術会議連携会員、防災学術連携体運営幹事
大友 康裕 東京医科歯科大学大学院 救急医学領域長 救急災害医学分野教授、
防災学術連携体代表幹事
中村 尚 東京大学先端科学技術研究センター教授、Ph.D.、日本学術会議会員
小松 利光 九州大学名誉教授、日本学術会議連携会員、防災学術連携体幹事、日本工学会副会長
平田 直 日本学術会議連携会員、東京大学名誉教授、国立研究開発法人
防災科学技術研究所 参与(兼)首都圏レジリエンス研究推進センター長
米田 雅子 日本学術会議会員・防災減災学術連携委員会、防災学術連携体代表幹事、
慶應義塾大学特任教授
森本 章倫 早稲田大学教授、日本都市計画学会副会長、防災学術連携体副代表幹事
田村 和夫 日本学術会議連携会員、建築都市耐震研究所代表

SS-12



「ひとり」を「独り」にしない 復興支援のカタチ

広島県災害復興支援士業連絡会



13:30～15:00

復興支援は、被災者一人一人のニーズを拾い、解決していくことだけではなく、被災者の方のコミュニティを取り戻し、社会の中の「独り」ではなく「ひとり」として生活できるように支援することが重要です。今回のセッションでは、限界まで一人一人に寄り添い続けている各分野のプロフェッショナルの方々をお招きし、「ひとり」を「独り」にしない復興は、どのような団体がどのように連携すれば実現できるかを話し合います。

■出演者／

松原 裕樹 NPO法人ひろしまNPOセンター/専務理事・事務局長
吉野 篤史 社会福祉法人 広島県社会福祉協議会/地域福祉課長 兼 広島県地域支え合いセンター長
津久井 進 兵庫県弁護士会/日本弁護士連合会災害復興支援委員会委員長
明城 徹也 NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)/事務局長
澤田 雅浩 兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科/准教授
古川 智 技術士/広島県災害復興支援士業連絡会会員、(公社)日本技術士会 中国本部 防災委員会 副委員長、
中電技術コンサルタン(株) 企画本部事業企画部 担当部長
今田 健太郎 広島弁護士会/広島県災害復興支援士業連絡会会長
工藤 舞子 広島弁護士会/広島県災害復興支援士業連絡会事務局

SS-13



みんな元気になるトイレ協議会 発足記念シンポジウム

みんな元気になるトイレ 協議会



13:30～15:00

発足宣言 協議会会長 小長井義正 富士市市長
基調講演 東京大学 目黒公郎 記念シンポジウム
「災害派遣はコレクティブインパクトの時代へ」 富士市市長 小長井義正
東京大学 目黒公郎、福祉防災コミュニティ 鍵屋 一、危機管理教育研究所 国崎信江、
助けあいジャパン 石川淳哉、全国導入自治体首長

■出演者／
目黒 公郎 工学者 東京大学生産技術研究所教授、都市基盤安全工学国際研究センター長
鍵屋 一 跡見学園女子大学 教授、(一社)福祉防災コミュニティ協会代表理事
国崎 信江 (株)危機管理教育研究所 代表
石川 淳哉 ソーシャル・グッド・プロデューサー (一社)助けあいジャパン 代表理事
(株)ドリームデザイン 代表取締役
小長井 義正 静岡県富士市長

SS-14



「いざという時どうなる？ あなたの食と栄養」vol.3 ～フェーズフリーな食を考えよう～

(公財)味の素
ファンデーション



13:30～15:00

【食・栄養】は誰でも参加できる防災の入り口です。セッションでは、発災時に起きる食・栄養の様々な課題や最新の取り組みを知って頂き、参加者全員が主体者として、そこから自助・互助・共助・公助それぞれのレベルで出来ることを一緒に考え、行動に繋がります。

■出演者／
佐藤 唯行 (一社)フェーズフリー協会 代表理事
掛川 哲司 料理人
須賀 智子 (株)料理通信社 SDGs事業部部長/Webメディア事業統括
齋藤 由里子 (公財)味の素ファンデーション 被災地復興応援事業 統括マネージャー

SS-15



防災マンガを活用した 子どもたちへの防災啓発の取り組み

(株)不知火プロ



13:30～15:00

JA(農協)グループである家の光協会は子ども雑誌「ちゃぐりん」を毎月発行し、その中で2017年から防災漫画「ゆれくる遊撃隊のレッツ防災術」の連載を続けています。
子どもたちに向けて漫画で楽しく防災啓発する際の工夫や、子どもたちの健康と安全のための取り組みについて、制作や編集の担当者たちが実例を紹介します。

■出演者／
上園 幸一 (株)不知火プロ
近井 朋人 (一社)家の光協会

SS-16



今後の豪雨災害の“ソナエ”の ために私たちが踏み出す新たな第一歩

(一社)日本損害保険協会



13:30～15:00

災害情報・ボランティア・広島市の取り組みなどをテーマとし、過去の広島の水害にまつわる場所での取材も交え、私たちが明日から新たな第一歩を踏み出すために必要な“ソナエ”を考えていきます。

■出演者／
松井 一洋 広島経済大学 名誉教授
関谷 直也 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター 准教授
浦野 愛 レスキューストックヤード 常務理事
北島 利喜 広島市危機管理室災害予防課 主事

SS-17



災害に強いココロを養う／ レジリエンス

(一社)災害防止研究所



13:30～15:00

- 1 災害時のメンタルケアの必要性【5分】
- 2 アサーティブトレーニング【40分】
約20名に、アンケート調査を実施。希望者4～5名に、性格分析を実施。
- 3 日常生活におけるレジリエンス強化の意義【15分】
 - ・トレーニングの有効性
 - ・メンタルケアの効果(スポーツメンタルトレーナー)
 - ・Q&A

■出演者／
井上 幸珠 メンタルトレーニング研究所 (一社)ability アビリティ 代表理事
吉田 明生 (一社)災害防止研究所 代表理事
福島 秀和 プロ総合格闘家、フィジカル・パーソナルトレーナー、メンタルトレーニング講師、
ヨガ・インストラクター

SS-18



広島市防災セミナー 語り継ぐ防災～教訓を活かす～第二部

広島市



14:30～15:30

第一部にもご登壇いただいた東京大学大学院の片田敏孝教授に、「災害の教訓を伝えるということ～災害伝承と防災教育の視点から～」をテーマに、御講演をいただきます。

■出演者／
片田 敏孝 東京大学大学院情報学環・日本災害情報学会/特任教授・会長

※アーカイブなし

SS-19



数々の災害体験をのりこえて

(公財)日本消防協会



15:30~17:00

広島県では、広島市をはじめ県内各地でこれまでも大規模な水害などの経験から、防災対策に積極的に取り組んでおられます。さらに、近年はこれまでにない局地的な集中豪雨などがあり、避難行動などまで含めて一層充実した対策を実施しておられます。これらに対する対応等について発表して頂くとともに、今後の課題等についてご協議頂き、防災・減災対策の一層の充実に寄りたいと思います。

■出演者／

秋本 敏文 (公財)日本消防協会会長
 玖島 鐘二 広島市役所/危機管理室災害予防課課長
 荻澤 滋 総務省消防庁国民保護・防災部長
 三宅 操 広島県危機管理監みんなで減災推進課長
 室崎 益輝 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長・教授

SS-20



持続可能な防災教育の創造に向けて

防災教育学会



15:30~17:00

防災分野と教育分野から、防災教育の実践者と研究者をパネリストとして招き、具体的な実践をもとに、先進的な実践を可能にしている要因、全体に劇的に広がっていかない原因などを話し合います。防災教育を持続可能にするアイデアを発信するところまで議論を深めようと考えています。

■出演者／

中溝 茂雄 神戸親和女子大学発達教育学部児童教育学科・教授
 船木 伸江 神戸学院大学現代社会学部社会防衛学科・准教授
 森永 速男 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科・教授
 曾川 剛志 西宮市立夙川小学校・教諭 兵庫教育大学博士課程
 (コーディネーター) 諏訪 清二 防災学習アドバイザー・コラボレーター

SS-21



相乗型豪雨災害から命を守るために

広島大学
防災・減災
研究センター

15:30~17:00

2018年7月の豪雨災害の崩壊・土石流や土砂洪水氾濫の発生状況と要因(長谷川祐治准教授)、発災時・発災後に見られた道路や交通などのインフラの混乱メカニズムの分析(藤原章正教授)、実効性のある避難のあり方の模索(坂田桐子教授)、withコロナ時代における避難所運営に向けて(大毛宏喜教授)等の広島大学防災・減災研究センターの取組を紹介し、地域住民など今後の防災について討議します。

■出演者／

海堀 正博 広島大学先進理工系科学研究科教授/防災・減災研究センター長
 藤原 章正 広島大学副学長/先進理工系科学研究科教授
 大毛 宏喜 広島大学病院副院長/感染症科教授
 坂田 桐子 広島大学大学院人間社会科学研究科教授
 長谷川 祐治 広島大学先進理工系科学研究科准教授
 山口 正記 福山市総務局総務部危機管理防災課長
 杉原 均 福山市山手学区町内会連合会会長/福山市山手学区自主防災協議会会長
 神尾 博志 東広島市総務部危機管理課長
 牧野 美三夫 東広島市八本松住民自治協議会防災委員会委員長 ※アーカイブなし

SS-22

魂を込めた地区防災計画づくりの実例
～最も大切なプロセスを辿る～

(独)都市再生機構



15:30~17:00

UR賃貸住宅において、居住者によって構成される自治会や自主防災会が主体となり、地区防災計画の策定を実施している地域があります。今回は、策定に取り組まれた2つの事例について、地区防災計画の策定におけるプロセスを紐解いていくことで、策定当時の様子や苦労したこと、策定のポイントやコツなどを、策定支援に携わったUR職員と百年防災社葛西さんの3名によるトークセッションを通じてご紹介致します。

■出演者／

葛西 優香 (株)百年防災社取締役
 山口 和人 UR都市機構東日本賃貸住宅本部千葉エリア経営部団地マネージャー
 柴田 岳 UR都市機構東日本賃貸住宅本部神奈川エリア経営部ストック活用計画課

SS-23

防災分野におけるドローン
利活用の最前線

(一社)日本ドローンコンソーシアム



15:30~17:00

防災分野におけるドローンの利活用の実績を紹介すると共に、行政における防災訓練の状況や災害時利用に関わる将来ビジョン・計画を紹介します。

■出演者／

酒井 直樹 防災科学技術研究所先端的研究施設利活用センター
 先端的研究施設利活用センター副センター長
 鳥潟 與明 東光鉄工株式会社UAV事業部 シニアマネージャー
 岡部 和夫 スカイリモート 代表
 須田 信也 (株)WorldLink&Company 代表取締役
 伊東 明彦 (一社)日本ドローンコンソーシアム 事務局長

SS-24



豪雨災害と医療連携

(公社)日本医師会



15:30~17:00

地域医療の担い手、豪雨災害時の医療指揮経験者や防災専門家の参加を得て、近年多発化・被害激甚化が進む豪雨災害における医療連携を協議します。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえて感染対策も論じます。

目的:豪雨災害における医療連携についての意見交換

パネリスト:医師会関係者、豪雨災害時の医療従事経験者、防災専門家、感染管理の専門家
対象:医療・介護・福祉・行政関係者、自治会等の市民代表者

■出演者／

西野 繁樹 広島県医師会常任理事
 高杉 啓一郎 広島県呉市医師会理事
 山田 和彦 熊本県人吉市医師会副会長
 丹羽 浩之 広島市危機管理室専門監
 櫻井 滋 日本環境感染学会[災害時感染制御検討委員会]委員長/岩手医科大学附属病院感染制御部長
 中川 俊男 (公社)日本医師会 会長
 猪口 雄二 (公社)日本医師会 副会長
 長島 公之 (公社)日本医師会 常任理事

SS-25



コロナ禍での多様な被災者支援主体 による連携(三者連携)～支援を届ける×感染リスクを高めない～

NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク



16:00～17:30

コロナ禍での初めての災害となった、令和2年7月豪雨について「必要な支援を届けること」と「感染リスクを高めないこと」をどうやって両立するのか。また、全国の三者連携の取り組みを紹介し、いざという時に機能する連携のあり方を考えたいと思います。

■出演者／
樋口 務 NPO法人くまもと災害ボランティア団体ネットワーク(KVOAD)/代表理事
坂口 輝昭 日本青年会議所建設部会 第54代部会長
小川 耕平 社会福祉法人全国社会福祉協議会/全国ボランティア・市民活動振興センター 副部長
市川 琢己 内閣府 政策統括官(防災担当)付 参事官(普及啓発・連携担当)付 参事官補佐
田中 雄一郎 朝日新聞大阪本社 論説委員室 論説副主幹
篠原 辰二 一般社団法人Wellbe Design/理事長
瀬川 加織 NPO法人いわて連携復興センター/地域コーディネーター(復興CDN事業統括・防災担当)
石原 達也 NPO法人岡山NPOセンター/代表理事
明城 徹也 NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)/事務局長

SS-26



クロージングセッション

内閣府



17:30～18:00

大会の締めくくりとして、防災推進国民会議副議長の挨拶の後、広島大学海堀教授より総評と次回のぼうさいこくたいへの期待をお話しいたします。次に、来年度の開催地の発表と会場の地域代表者より、来年の抱負をお話しいたし、終わりに防災担当副大臣より主催者挨拶を行います。最後まで、東京と広島の会場をリモートでつなぎ、オンライン配信をご視聴いただきます。

■出演者／
赤澤 亮正 内閣府 防災担当副大臣
秋本 敏文 防災推進国民会議副議長 (公財)日本消防協会会長
海堀 正博 広島大学先進理工系科学研究科教授/防災・減災研究センター長
宇田川 智弘 日本損害保険協会 理事 業務企画部長
次期開催地代表 ※当日ライブで発表します

特別企画



頻発する豪雨、切迫する 巨大地震にどう備えるか ～広島県知事×三重県知事トップ対談～



11:00～11:30

広島県は平成26年や30年の豪雨災害等で、三重県は平成23年紀伊半島大水害等で共に大きな被害を受けました。また広島県は、まさ土による土砂災害リスクを抱え、三重県ではリアス式海岸による津波災害を含む南海トラフ地震等のリスクが高まっています。災害への備えを重視する両県知事とコーディネーターに名古屋大学福和教授を迎え、両県知事が、災害から得た教訓、現在の防災の取組、防災への想いを語るトップ対談です。

■出演者／
湯崎 英彦 広島県知事
鈴木 英敬 三重県知事
福和 伸夫 名古屋大学減災連携研究センター教授

特別企画

内閣府×環境省「気候変動と防災」

17:00～17:30

近年、豪雨や台風などの災害が頻発化、激甚化しており、今後も気候変動の影響により災害リスクはさらに高まるおそれもあります。気候変動が引き起こす気象災害を理解し、今後を考えるため、京都大学中北教授から「気候変動予測と適応に向けた展望」についてお話いただくとともに、今年6月に内閣府と環境省が発表した「気候変動×防災」戦略に関する共同メッセージの内容をお伝えします。



MEMO

ワークショップ

要事前
申し込み

WEB会議システムを使ったオンラインワークショップです。
意見交換やワークショップなどを実施します。

参加
申し込み
方法

- ① 特設ページ開設後、ホームページの予約申し込みフォームから予約します
- ② 出展団体から予約確定連絡が届きます
- ③ 出展団体からワークショップ用URLが送付されます
- ④ ワークショップ開始!

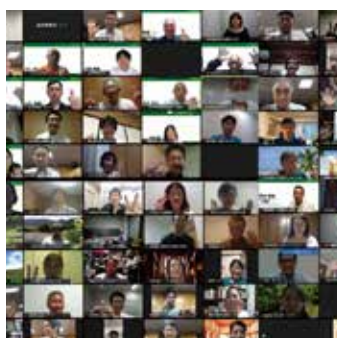
開催時間 ①11:00～12:30 ②13:30～15:00 ③15:30～17:00

WO-01 ②③

内閣府 TEAM防災ジャパン



いまだからこそ、オンラインでつながろう



昨年の名古屋や今年の広島など、ぼうさいこくたいに集った人たちが、日ごろからの防災・減災の事例や悩み・課題を共有し、交流や学び合いの中から、具体的な取り組みのより一層の深化を促す議論を行います。
②13:30～15:00
つながる+発見、そして新しい場づくり～実空間を超えて～
総合司会:鍵屋一(跡見学園女子大学 教授)
③15:30～17:00
地域防災の力を膨らませる:多様な参加が可能な地域防災の未来形
総合司会:浅野幸子(減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表)

WO-02 ①②

日本赤十字社



赤十字防災セミナー「災害への備え」特別編 一感染症から身を守るために避難生活で気を付けること一



日本赤十字社では、人々の防災に関する知識、意識、技術を高め、また、地域コミュニティ形成の一助となることを目的に赤十字防災セミナーを全国で展開しています。
今般の新型コロナウイルスの感染拡大を契機として、同セミナーに感染症対策の要素を盛り込んだカリキュラムを作成したことから、一般向けに初めて公開します。
また、災害時の「食」を通じた健康管理の重要性についても、議論を提起します。

WO-03 ①③

ペット防災サポート協会



あなたの命を守るペット防災・減災と一緒に考えてみませんか?



Webで画面共有により人とペットの防災・減災スライドを見て頂きます。内容は、「自助」として人の命が最優先である事、ペットについては、飼い主の責任や普段からしておく「しつけ」の重要性や災害時に必要な物の準備、迷子にさせない事をお伝えします。その後、実際に避難所で起きたペットのトラブル問題の動画を数問見て頂き、各問題に対してグループワークセッションを行い「共助」にも気付いて頂きます。

WO-04 ②③

三菱地所レジデンス(株)



みんなde備える ～「そなえるドリル」で考えてみよう!



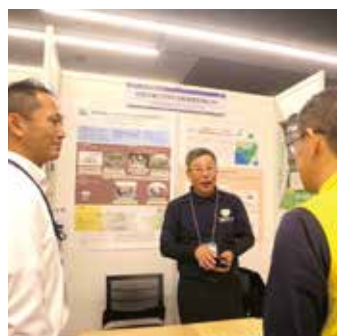
弊社の「防災倶楽部」にて作成している「そなえるドリル」を使用し、災害時に自分だったらどのように行動するかを考えることにより、防災・減災に対する意識を自分事化して貰います。また、凝固剤の実験を通じて、災害時の「トイレ」の重要性を認識して頂きます。
当日は、カーブOBの天谷 宗一郎氏をゲストにお迎えします。

WO-05 ①②

日本ジオパークネットワーク



大地の成り立ちから知る防災のヒント



日本ジオパークネットワークは、全国に正会員44、準会員16地域の加盟があり、市町村数では246の自治体が加盟する全国のネットワークです。この全国のネットワークを活用し、防災減災の普及を展開しており、全国での活動内容を展示することにより、広く防災についての活動や知識の普及啓発を図ります。

WO-06 ②

(株)白獅子



「VRの技術で、災害から人類を守ろう」

岡山大学と岡山市消防局との「VRの技術で火災による死傷者をなくす」ための研究(行動データ蓄積→心理学的加減から分析)とシステム開発、展示。
「子供を災害から守れ!子供用防災VR」概要、システム説明。デモ展示。
上記を展示予定しております。

※掲載写真の一部は前回の様子です



開催時間 ①11:00～12:30 ②13:30～15:00 ③15:30～17:00

WO-07 ①

(公社)日本地震学会



何でも聞いてみよう、中国地方の地震活動の これまでとこれから=地震学会住民セミナー



・日本地震学会会長 あいさつ
・説明「地震とは何か」
小原一成 公益社団法人日本地震学会会長(東大地震研究所教授)
・説明「中国地方の地震活動について」
奥村晃史 広島大学教授
・質疑応答 40分

WO-08 ①②③

(一社)ひろしま防災減災支援協会



体験×企画×対策「鯉こいキャラバン!」から 防災・減災を取り組みませんか?



広島は度々土砂災害に襲われ多くの犠牲者が出ています。
そのような体験から市民の防災意識を高める活動として行っているのが「鯉こいキャラバン!」です。
この度は「鯉こいキャラバン!」をテーマに4種類のワークショップを開催します。
多くの方々と意見の交換をし、防災・減災の取り組みを考えませんか?

WO-09 ①②③

防災WEST



大雨防災ワークショップ (経験したことのない大雨 その時どうする?)



参加者が架空の街に住み、そこに大雨が降ってくるという想定で、大雨洪水警報、土砂災害警戒情報などの防災気象情報が発表され、事態が悪化していくシナリオです。参加者はワークを通してどのタイミングで避難するのかどうか?また、なぜそうするのかを考え、他の参加者の前で発表し、気象の「専門家」であるファシリテーターが講評をしてワークショップが終了します。

WO-10 ②

母と子の育児支援ネットワーク



災害時における授乳アセスメント(聞き取り)を体験しよう



授乳中の母子が避難してきたらどうしますか?内閣府男女共同参画局「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」に授乳に関し客観的に評価できる授乳アセスメントシートが載りました。避難所等で授乳中の母子に接する可能性のある人がこのシートを使うことで、母乳を飲ませている女性が安心して継続でき乳児用ミルクが必要な場合は安全に使うための支援ができるようになることを目指します。

WO-11 ①

広島市江波山気象館
【(公財)広島市文化財団】



気象・減災・防災の普及活動について 情報共有を図るワークショップ



全国で、減災・防災に関するさまざまな普及活動が行われています。
今回、日頃普及活動に取り組まれている皆様から参加者を募り、その事例やノウハウ・問題点などを共有できるようなワークショップを開催します。合わせて、江波山気象館での原理模型等を利用した事例もご紹介いたします。
専門家や自治体の方に限りません。各所で普及活動がされている皆様のご参加をお待ちしています。

※掲載写真の一部は前回の様子です



プレゼン

出展団体の取り組みを写真・動画で紹介します。

●担当者で直接話ができる面談を行えるプレゼンもあります。面談をご希望の場合は、以下の方法で事前予約をお願いします。(定員に達したプレゼンは事前予約ができない場合があります。)

面談 予約方法

①

特設ページ開設後、
ホームページの予約
申し込みフォームから
予約します

②

開始30分前までに
「meet in」面談用
URLがメール連絡
で届きます

③

予定時間の5分前まで
に面談用URLから
「meet in」入室ください

④

プレゼン
面談開始!



PR-01	岩手県	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
東日本大震災津波の教訓を踏まえた防災活動と復興の歩み								
PR-02	海田町	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
ぼうさいかいた								
PR-03	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
歴史文化の災害対策 「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」の紹介								
PR-04	(一社)全国建設業協会	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
「つくる!なおす!まもる!地域建設業の取り組み」								
PR-05	(株)センリン	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
まちを知って身を守ろう〜地図×防災〜								
PR-06	竹内工業(株)	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
救助用品を使った300キロの持ち上げ方								
PR-07	(独)都市再生機構	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
事前防災への取組〜津波防災まちづくりや防災公園の整備について〜								
PR-08	(一社)72時間サバイバル教育協会	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
子どもが主体的に減災を担う72時間サバイバル教育								
PR-09	日東工業(株)	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
防災製品の日常使いって???								
PR-10	(一社)日本建設業連合会	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
建設会社の防災活動								
PR-11	(一社)日本照明工業会	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
エリア防災照明(屋内・屋外非常用照明器具)のご提案								
PR-12	NPO法人 日本防災士会	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
地域防災力の向上(地区防災計画作成)地域防災力とボランティア活動								
PR-13	パナソニック ライティングデバイス(株)	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
防災対策用 タングステン耐切創手袋								
PR-14	広島市防災士ネットワーク	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
防災まちづくりは「わがまち防災マップ」から〜防災・減災は絆づくり〜								
PR-15	広島大学防災・減災研究センター	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
相乗型豪雨災害から命を守るために必要なこと								
PR-16	広島防災リーダーネットワーク会議	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
地域で呼びかけ、早めの避難〜自主防災組織による避難の呼びかけ体制づくり〜								
PR-17	防災ママかきつばた	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
知って備えて子どもを守る!おやこ防災活動紹介								
PR-18	ミライノベーションプロジェクト	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
暮らしを楽しく、便利に安全にするミライの街づくり								
PR-19	(株)ヤザワコーポレーション	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
IoT技術を駆使した次世代型防災ボックスのご紹介								

PR-20	よんなな防災会	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
防災ファンを増やして全国に防災の輪を!								
PR-21	イオン(株)	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
地域を守り、くらしを守る								
PR-22	Welltool(株)	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
災害時の多言語情報・グローバルコミュニケーションツール「Welltool」								
PR-23	エヴォーブテクノロジー(株)	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
避難所でのウイルス感染症対策に!								
PR-24	(株)NTTドコモ中国支社	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
ドコモの災害対策への取り組み紹介								
PR-25	エピスタ コーポレーション/(株)ブリート	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
全身拭ける多機能ウェットティッシュ(敏感肌用化粧品)&便器のいない自立型携帯トイレ								
PR-26	機能ガラス普及推進協議会	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
窓を防災安全ガラスにして災害への備えを。								
PR-27	(一財)自治体国際化協会(クレア CLAIR)	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
災害時の外国人支援 〜避難所等で使える多言語ツールの紹介〜								
PR-28	大丸鐵興(株)	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
飲み水だけでは不十分。生活用水も確保しませんか?								
PR-29	WPPグループ Japan Pet Press	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
災害とペット 一命から読み解く災害への備えー								
PR-30	帝人フロンティア(株)	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
総合防災のプラットフォーム「まるごと防災」の提案です。								
PR-31	NPO法人 都市環境標識協会	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
全国統一型避難誘導標識								
PR-32	西日本電信電話(株) 広島支店	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
災害時におけるNTT西日本の提供する通信手段の紹介								
PR-33	(公社)日本薬剤師会	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
薬剤師会 モバイルファーマシー								
PR-34	梅花堂紙業(株)	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
避難所でのアメニティを改善します								
PR-35	母と子の育児支援ネットワーク	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
災害時の乳児栄養・授乳支援								
PR-36	(一社)福祉防災コミュニティ協会	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
みんな元気になる福祉避難所								
PR-37	福島大学うつくしまふくしま未来支援センター	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
「福島から発信する防災教育」								
PR-38	(株)フジタ	●	一般向け	企業向け	自治体向け	専門家向け(学術界)	学生向け	子ども向け
テント付き災害用簡易ベッド								

PR-62

(株)コミュニティネット



"屋内で浮いて助かる"要支援者向け救命用具「担架ボートPUKA」

PR-63

名古屋市



東海豪雨から20年 ～ナゴヤの治水対策の今～

PR-64

梅林学区自主防災会連合会 / 梅林学区復興まちづくり協議会



2014年8月20日 広島豪雨災害からの復興まちづくり

PR-65

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター



阪神・淡路大震災の経験と教訓を伝える災害ミュージアム

PR-66

(公財) 福島イノベーション・コースト構想推進機構
東日本大震災・原子力災害伝承館



東日本大震災・原子力災害伝承館

PR-67

リコージャパン(株)



ICTを活用した発災後初動期における情報伝達

PR-68

名古屋学芸大学



名古屋学芸大学 学生の学び

PR-69

名古屋みずほ災害ボランティアネットワーク



防災ソングで学校教育&3.11忘れない神社ワイン

PR-70

(公社)日本技術士会防災支援委員会



科学技術で大規模災害の被害を軽減

PR-71

防災教育学会



防災教育学会がめざす持続可能な防災教育の創造

PR-72

国際復興支援プラットフォーム (IRP)



「Build Back Better(より良い復興)」に関する経験と教訓を発信

PR-73

坂町



坂町における災害対応と今後の復興に向けて

PR-74

南海トラフ地震による超広域災害への
備えを強力に進める10県知事会議



南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進めよう

PR-75

(一社)日本非常食推進機構



SDGsに寄与する防災備蓄品の有効活用

PR-76

アールシーソリューション(株)



未来にそなえる新しい防災アプリ「PREP」

PR-77

(一財)移動無線センター



知ってほしい! 災害時の通信手段にベストな無線「MCAアドバンス」

PR-78

(株)国際電気通信基礎技術研究所 (ATR)



通信途絶時でも使える可搬型ローカル通信システム(LACS)

PR-79

国立研究開発法人情報通信研究機構



災害に強い情報通信技術の構築に向けて

PR-80

総務省中国総合通信局機構



災害時における情報通信の確保と支援

PR-81

国立研究開発法人 防災科学技術研究所



防災科研の取り組み

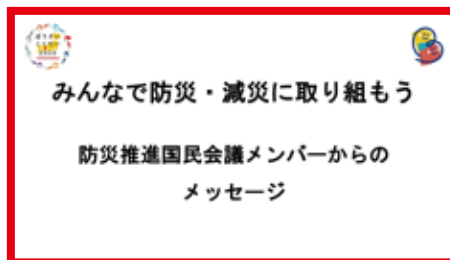
PR-82

防災専門図書館【(公社)全国市有物件災害共済会】



防災推進国民会議からのメッセージ

本大会の主催者の一つである防災推進国民会議は、各界各層との意見交換や連携等を図り、国民の防災に関する意識向上に取り組んでいます。



【構成団体 計40団体】

全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議会議長会、(公財)日本消防協会、
 全国消防長会、(一財)日本防火・防災協会、(公社)日本PTA全国協議会、(公社)全国子ども連合会、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、
 全国高等学校長協会、全国都道府県教育委員会連合会、全国市町村教育委員会連合会、(一社)国立大学協会、(一社)公立大学協会、
 日本私立大学団体連合会、日本学術会議、防災学術連携体、日本放送協会、(一社)日本民間放送連盟、(一社)日本新聞協会、
 (一社)日本雑誌協会、(公社)日本医師会、(公社)日本歯科医師会、(公社)日本薬剤師会、(公社)日本看護協会、社会福祉法人全国社会福祉協議会、
 日本障害フォーラム、全国地域婦人団体連絡協議会、(一社)日本経済団体連合会、(公社)経済同友会、日本商工会議所、日本労働組合総連合会、
 (公社)日本青年会議所、日本赤十字社、(公財)日本財団、日本生活協同組合連合会

広島県立湯来南高等学校和太鼓部からの 応援メッセージ

昨年、出場予定だった国民文化祭は台風の影響で中止となりました。それを糧に迫力ある演奏を披露します。



呉市呉高等学校吹奏楽部からの 応援メッセージ



平成30年7月豪雨で、県内で特に被害の大きい地域の高校生による演奏です。追悼と復興のメッセージを届けます。

中国新聞報道写真

中国新聞社では、広島県の災害、そして復旧・復興の取組を数多く取材してきました。ここではその一部を紹介します。



広島県みんなで減災推進大使

「みんなで減災」推進大使からのぼうさいこくたいへの応援メッセージを紹介しています。



お世話焼きカウンター(見どころ紹介) 10:00~12:00



TEAM防災ジャパンのお世話係の方々が、今回のこくたいの見どころなどを、アクセスされたニーズに応じてリアルタイムにご案内します。

津波防災の日(11月5日) イベント紹介

今年は「津波防災の日イベント」をオンラインで開催します。専門家による講演、津波防災に取り組む「わが町の地区防災計画自慢」等内容は盛りだくさんです。事前予約制で詳細は10月中旬に公開予定。



MEMO

オンライン開催用特設ページへのアクセス方法

ぼうさいこくたいホームページへアクセス

ぼうさいこくたいホームページ
特設ページ入り口から

ぼうさいこくたい

検索

<http://bosai-kokutai.jp>



オンライン
開催用
特設ページへ



または

タブレット、
スマートフォンは
二次元コードから



参加するために、事前予約が必要なもの

ワークショップ

要事前
申し込み

WEB会議システムを使ったオンラインワークショップです。
意見交換やワークショップなどを実施します。

参加申し込み方法

- 1 特設ページ開設後、ホームページの
予約申し込みフォームから予約します
- 2 出展団体から予約確定連絡が届きます
- 3 出展団体からワークショップ用
URLが送付されます
- 4 ワorkshop開始！



プレゼン

出展団体の取り組みを写真・動画で紹介します。
担当者で直接話ができる面談を行えるプレゼンもあります。

○面談をご希望の場合は、以下の方法で事前予約をお願いします。
(定員に達したプレゼンは事前予約ができない場合があります。)

面談予約方法

- 1 特設ページ開設後、ホームページの
予約申し込みフォームから予約します
- 2 開始30分前までに「meet in」
面談用URLがメール連絡が届きます
- 3 予定時間の5分前までに面談用URL から
「meet in」入室ください
- 4 プレゼン面談開始！



防災に関わる多数の団体が参加！ (順不同)

セッション

- 内閣府
- 防災教育チャレンジプラン実行委員会
- みんな元気になるトイレ 協議会
- 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター ★
- SIP国家レジリエンス(防災・減災)の強化
- NPO法人 日本ラクテーション・コンサルタント協会
- (一社)日本リモートセンシング学会
- YY防災ネット
- (一社)DroneAI技術研究機構
- 広島市
- 防災学術連携体・日本学術会議
- 広島県災害復興支援士業連絡会
- (公財)味の素ファンデーション
- (株)不知火プロ
- (一社)日本損害保険協会
- (一社)災害防止研究所 ★
- (公財)日本消防協会
- 防災教育学会 ★
- 広島大学防災・減災研究センター ★
- (独)都市再生機構 ★
- (一社)日本ドローンコンソーシアム
- (公社)日本医師会
- NPO法人 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

ワークショップ

- TEAM防災ジャパン
- 日本赤十字社
- ペット防災サポート協会
- 三菱地所レジデンス(株)
- 日本シオパークネットワーク
- (株)白獅子
- (公社)日本地震学会
- (一社)ひろしま防災減災支援協会
- 防災WEST
- 母と子の育児支援ネットワーク ★
- 広島市江波山気象館((公財)広島市文化財団)

★の団体はプレゼンにも参加

プレゼン

- 岩手県
- 海田町
- 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館
- (一社)全国建設業協会
- (株)センリン
- 竹内工業(株)
- (一社)72時間サバイバル教育協会
- 日東工業(株)
- (一社)日本建設業連合会
- (一社)日本照明工業会
- NPO法人 日本防災士会
- パナソニック ライティングデバイス(株)
- 広島市防災士ネットワーク
- 広島防災リーダーネットワーク会議
- 防災ママかきつばた
- ミライノベーションプロジェクト
- (株)ヤザワコーポレーション
- よんなな防災会
- イオン(株)
- Welltool(株)
- エヴォーブテクノロジー(株)
- (株)NTTDコモ中国支社
- エビスタ コーポレーション/(株)ブリート
- 機能ガラス普及推進協議会
- (一財)自治体国際化協会(クレア CLAIR)
- 大丸鐘興(株)
- WPPグループ Japan Pet Press
- 帝人フロンティア(株)
- NPO法人 都市環境標識協会
- 西日本電信電話(株) 広島支店
- (公社)日本薬剤師会
- 梅花堂紙業(株)
- (一社)福祉防災コミュニティ協会
- 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター
- (株)フジタ
- ヤンマーエネルギーシステム(株)
- 江崎グリコ(株)
- (一社)おいしい防災塾
- クラーク(株)
- こくみん共済 coop (全国労働者共済生活協同組合連合会)
- 日本労働組合総連合会(連合)
- 日本セイフティー(株)
- NPO法人 日本防災用品技術研究協会
- (株)ハタヤリミテッド
- 三重県・三重大学 みえ防災・減災センター
- (株)i・ライフソリューションズ
- (株)カワハラ技研
- (株)スギタ
- タカミヤ
- トーヨーエナジー(株)
- 鹿児島市
- (一社)危機管理・労働災害防止機構
- 熊本県
- 国立国会図書館
- 東北大学災害科学国際研究所
- 地震津波リスク評価(東京海上日動) 寄附研究部門
- 日東工業 × 生方製作所
- 国土交通省 中国地方整備局
- (株)コミュニティネット
- 名古屋市
- 梅林区区自主防災会連合会 / 梅林区復興まちづくり協議会
- (公財)福島イノベーション・コースト構想推進機構
- 東日本大震災・原子力災害伝承館
- リコージャパン(株)
- 名古屋学芸大学
- 名古屋みずほ災害ボランティアネットワーク
- (公社)日本技術士会防災支援委員会
- 国際復興支援プラットフォーム(IRP)
- 坂町
- 南海トラフ地震による超広域災害への備えを強力に進める
10県知事会議
- (一社)日本非常食推進機構
- アールシーソリューション(株)
- (一財)移動無線センター
- (株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR)
- 国立研究開発法人 情報通信研究機構
- 総務省 中国総合通信局
- 国立研究開発法人 防災科学技術研究所
- 防災専門図書館((公社)全国市有物件災害共済会)
- (一社)日本防災プラットフォーム(JBP)
- (一社)浄化槽システム協会